

小論文検定 2019 年第 1 回検定（前期・後期）の課題

スタンダードコース

4 級 / 5 級 / 6 級

制限字数=800字 時間=60分
文章は常体で書くこと。

■課題■ 「食品ロス」を減らすには

食品ロスとはまだ食べられるのに廃棄される食品のことで、日本の食品ロスは2015年度には646万トンに上ると推計されている。大量の食品ロスは食料資源の無駄遣いであり、また処分する際には環境への負荷もかかる。この削減は課題であり、食品産業に対しては食品リサイクル法に基づき発生抑制の目標値が設定されている。しかし、食品ロスの半分近くは家庭のごみから出ており、この問題には国民全体で取り組んでいくことが求められている。

食品ロスの現状について調べたうえで、家庭での食品ロスを減らすために自分ができる取り組みを800字以内で述べよ。

マスターコース

1 級 / 2 級 / 3 級

制限字数=1200字 時間=90分
文章は常体で書くこと。

■課題■ 「IWC脱退」について

2018年12月、日本政府は国際捕鯨委員会（IWC）から脱退し、19年7月から日本の領海と排他的経済水域（EEZ）で商業捕鯨を行うと表明した。IWCは国際捕鯨取締条約に基づき設立されたクジラ資源の管理を担う国際団体で、クジラ資源の保護を理由に1982年に商業捕鯨の中止を決定した。日本は科学的データを根拠に商業捕鯨の再開を訴え続けてきたが、反捕鯨国の反対で30年にわたり日本の提案は否決されてきた。

あなたはこの脱退表明について賛成か反対か。日本の捕鯨の背景や国際社会とのかかわりを踏まえながら、どちらかの立場にたち理由を1200字以内でまとめなさい。